



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月11日

上場会社名 株式会社ダイキアキス 上場取引所 東
 コード番号 4245 URL http://www.daiki-axis.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大亀 裕
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 堀淵 昭洋 (TEL) 089(927)2222
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 平成26年9月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	15,876	—	606	—	647	—	440	—
25年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 384百万円(—%) 25年12月期第2四半期 -百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	70.96	—
25年12月期第2四半期	—	—

(注) 1. 当社は、平成25年12月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第2四半期の数値及び平成26年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

2. 当社は、平成25年10月9日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行い、また、平成26年5月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っておりますが、25年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	18,232	5,462	5,462	29.9	29.9
25年12月期	18,817	5,180	5,180	27.5	27.5

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 5,457百万円 25年12月期 5,175百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	33.00	33.00
26年12月期	—	11.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年12月期(予想)の1株当たり配当金については、株式分割後の数値で算定しております。詳細は次ページ「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,900	3.7	800	51.2	900	30.7	530	31.4	85.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

「平成26年12月期の連結業績予想」における1株当たり当期純利益については、平成26年5月1日を効力発生日として普通株式1株を普通株式2株に分割する株式分割が、平成26年12月期の期首に行われたと仮定して算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、170円85銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	6,204,400株	25年12月期	6,204,400株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	一株	25年12月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	6,204,400株	25年12月期2Q	4,994,400株

(注) 当社は、平成25年10月9日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行い、また、平成26年5月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っておりますが、25年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成26年8月27日(水)に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(その他特記事項)

当社は、平成26年4月7日開催の当社取締役会において株式分割を決議し、平成26年5月1日を効力発生日として普通株式1株を普通株式2株へ分割いたしました。これに伴う平成26年12月期の配当予想及び連結業績予想については該当項目をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が幅広い業種で見られたものの、金融緩和をはじめとした政府主導による政策効果を背景に企業の景況感が改善し、個人消費にも引き続き強い動きが見られるなど、景気は緩やかながらも回復基調が続いてまいりました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が見られたものの、影響は限定的であり、公共及び民間設備投資も徐々に改善が見られました。

このような状況のもと、当社グループは2014年度経営基本方針として「STEP UP」を掲げ、EQO(Efficiency(効率化)、Quality(品質)、Organization(組織力))を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は158億76百万円、営業利益は6億6百万円、経常利益は6億47百万円、四半期純利益は4億40百万円となりました。

セグメント毎の業績は次のとおりであります。

① 環境機器関連事業

排水処理システムの施工、浄化槽等の製品販売及び修繕工事は、売上高については想定よりやや下回ったものの、営業利益については浄化槽製造工程等の利益率が改善寄与したことから全般的にはほぼ想定並みの推移でありました。なお、新型浄化槽XE型は、公益財団法人日本環境協会が主催する「エコマークアワード2013」において、「プロダクト・オブ・ザ・イヤー」を受賞することができ、市場での知名度向上に寄与いたしました。これにより、売上高は73億21百万円、セグメント利益(営業利益)は6億31百万円となりました。

② 住宅機器関連事業

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が限定的であったことから、建設関連業者等に対する売上が好調に推移するとともに、ホームセンターリテール商材も堅調に推移いたしました。これにより、売上高は82億1百万円、セグメント利益(営業利益)は2億90百万円となりました。

③ その他

BDF関連事業についてはBDF精製プラントの販売があり、クリクラ事業については着実な販売状況でありました。また、全般的なコスト削減もあり、営業損失の圧縮につながりました。これにより、売上高は3億53百万円、セグメント損失(営業損失)は36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産については、流動資産が127億80百万円(前連結会計年度末比8.7%減)、固定資産が54億51百万円(前連結会計年度末比13.1%増)となり、資産合計は182億32百万円(前連結会計年度末比3.1%減)でありました。主な内訳は、現金及び預金43億72百万円、受取手形及び売掛金51億32百万円、土地19億37百万円であります。

負債については、流動負債が105億22百万円(前連結会計年度末比9.1%減)、固定負債が22億47百万円(前連結会計年度末比8.8%増)となり、負債合計は127億69百万円(前連結会計年度末比6.4%減)でありました。主な内訳は、支払手形及び買掛金21億18百万円、短期借入金44億47百万円であります。

純資産合計は54億62百万円(前連結会計年度末比5.4%増)であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、42億93百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、17億31百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益6億46百万円と減価償却費98百万円の計上、売上債権の減少額10億39百万円、たな卸資産の減少額4億12百万円、仕入債務の減少額4億17百万円、賞与引当金の減少額1億72百万円、未成工事受入金の減少額70百万円によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、7億86百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出7億94百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、1億94百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少額2億84百万円、長期借入れによる収入6億円、長期借入金の返済による支出3億82百万円、配当金の支払額1億2百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年6月25日に公表いたしました平成26年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

平成26年3月31日に、「所得税法等の一部を改正する法律(平成26年法律第10号)」が公布され、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法(平成23年法律第117号)」の一部が改正されたことにより、平成26年4月1日以後に開始する連結会計年度より復興特別法人税が廃止されました。

これに伴い、平成27年1月1日から開始する連結会計年度において解消が見込まれる一時差異等に係る繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来 37.75% から 35.37% に変更されます。

なお、この変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,639,709	4,372,710
受取手形及び売掛金	5,631,298	5,132,102
完成工事未収入金	1,445,235	922,998
有価証券	8,642	4,559
商品及び製品	290,604	285,557
仕掛品	1,928	10,550
未成工事支出金	1,396,638	985,991
原材料及び貯蔵品	284,162	275,593
その他	1,368,249	850,903
貸倒引当金	△68,775	△60,742
流動資産合計	13,997,692	12,780,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	845,467	859,973
減価償却累計額	△409,160	△424,467
建物及び構築物(純額)	436,306	435,506
機械装置及び運搬具	1,039,860	1,267,213
減価償却累計額	△334,418	△387,565
機械装置及び運搬具(純額)	705,441	879,647
土地	1,811,244	1,937,514
建設仮勘定	70,537	492,584
その他	502,555	475,112
減価償却累計額	△368,800	△340,853
その他(純額)	133,755	134,258
有形固定資産合計	3,157,285	3,879,511
無形固定資産		
のれん	448,596	417,208
その他	32,237	29,577
無形固定資産合計	480,834	446,785
投資その他の資産		
投資有価証券	797,038	725,997
その他	592,074	596,485
貸倒引当金	△207,457	△197,006
投資その他の資産合計	1,181,656	1,125,476
固定資産合計	4,819,775	5,451,773
資産合計	18,817,468	18,232,000

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,334,812	2,118,242
工事未払金	1,074,603	873,107
短期借入金	4,730,767	4,447,000
1年内返済予定の長期借入金	585,157	590,447
未払法人税等	212,192	169,055
未成工事受入金	617,240	543,242
賞与引当金	314,078	141,732
役員賞与引当金	80,520	36,054
完成工事補償引当金	51,870	46,650
製品保証引当金	14,733	15,328
工事損失引当金	42,838	5,215
その他	1,511,737	1,536,311
流動負債合計	11,570,551	10,522,387
固定負債		
長期借入金	1,685,728	1,898,245
役員退職慰労引当金	8,000	8,000
資産除去債務	68,084	81,050
その他	304,486	259,876
固定負債合計	2,066,298	2,247,171
負債合計	13,636,850	12,769,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,983,290	1,983,290
資本剰余金	1,766,394	1,766,394
利益剰余金	1,136,302	1,474,225
株主資本合計	4,885,987	5,223,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	251,596	206,520
為替換算調整勘定	37,993	27,330
その他の包括利益累計額合計	289,589	233,850
少数株主持分	5,041	4,680
純資産合計	5,180,618	5,462,440
負債純資産合計	18,817,468	18,232,000

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	15,876,092
売上原価	12,876,161
売上総利益	2,999,931
販売費及び一般管理費	2,393,880
営業利益	606,050
営業外収益	
受取利息	2,288
受取配当金	6,785
仕入割引	80,613
その他	28,211
営業外収益合計	117,899
営業外費用	
支払利息	28,345
貸倒引当金繰入額	△452
支払手数料	34,502
その他	14,048
営業外費用合計	76,444
経常利益	647,505
特別損失	
固定資産売却損	57
投資有価証券評価損	1,137
その他	5
特別損失合計	1,200
税金等調整前四半期純利益	646,305
法人税、住民税及び事業税	201,713
法人税等調整額	4,651
法人税等合計	206,365
少数株主損益調整前四半期純利益	439,939
少数株主損失(△)	△355
四半期純利益	440,295

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	439,939
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△45,075
為替換算調整勘定	△10,663
その他の包括利益合計	△55,738
四半期包括利益	384,200
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	384,561
少数株主に係る四半期包括利益	△360

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	646,305
減価償却費	98,606
のれん償却額	31,388
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19,281
賞与引当金の増減額(△は減少)	△172,345
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△44,466
製品保証引当金の増減額(△は減少)	595
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△5,220
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△37,623
受取利息及び受取配当金	△9,073
支払利息	28,345
固定資産売却損益(△は益)	57
投資有価証券評価損益(△は益)	1,137
売上債権の増減額(△は増加)	1,039,186
たな卸資産の増減額(△は増加)	412,480
仕入債務の増減額(△は減少)	△417,657
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△70,849
その他	497,807
小計	1,979,392
利息及び配当金の受取額	8,983
利息の支払額	△28,821
法人税等の支払額	△227,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,731,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△60,200
定期預金の払戻による収入	68,080
有形固定資産の取得による支出	△794,287
投資有価証券の取得による支出	△5,799
投資有価証券の売却による収入	4,566
貸付金の回収による収入	1,296
その他	△529
投資活動によるキャッシュ・フロー	△786,872
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(△は減少)	△284,809
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△382,193
配当金の支払額	△102,372
リース債務の返済による支出	△25,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△194,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	740,879
現金及び現金同等物の期首残高	3,552,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,293,306

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	環境機器関連	住宅機器関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,321,418	8,201,311	15,522,730	353,362	15,876,092
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,818	133	3,952	213	4,165
計	7,325,237	8,201,445	15,526,682	353,575	15,880,258
セグメント利益又は損失(△)	631,744	290,276	922,020	△36,102	885,917

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、BDF関連事業、クリクラ事業、ペット関連事業及び小形風力発電機関連事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	922,020
「その他」の区分の損失(△)	△36,102
セグメント間取引消去	73,944
全社費用(注)	△353,811
四半期連結損益計算書の営業利益	606,050

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。